

第2回伊勢原市歴史文化基本構想策定委員会 会議録

1. 開催日時

平成27年8月25日(火) 午後3時～午後5時

2. 開催場所

伊勢原シティプラザ3階・記帳指導室

3. 出席した委員

鈴木良明(委員長)、谷川雅一(副委員長)、川島敏郎、清水擴、永井治子、山本勉、目黒仁、菅谷裕子、齋藤慎、鈴木あつ子、佐野治之、鍛冶栄一、櫻井勇

4. 出席したオブザーバー

黒石正幸(経営企画課長)、辻雅弘(広報広聴課長)、安藤隆幸(商工観光振興課長)、谷口肇(神奈川県・文化遺産課・グループリーダー)、石原孝造(神奈川県・文化遺産課・主事)

5. 事務局

鈴木教之(教育長)、山口譲(歴史文化推進担当部長)、立花実(文化財課長)

6. 会議書記

酒川崇生(文化財課主事)

7. 公開可否

公開

8. 傍聴者数

0人

《審議の経過》

午後3時開会

1. あいさつ

2. 議題

(1) 「伊勢原市歴史文化基本構想の策定について

資料4、5を用いて、事務局より説明

[委員] コーディネーター機能について、こういった会議がコーディネーター機能を持つようになるのか。具体論は今後になると思うが、どういう方向性を持つかで大分変わってくる。

[事務局] 具体的には、連携・連動チームのような庁内横断的な調整会議をイメージしている。市役所外の方々とは調整会議を組織する等連携を深めていく。抽象的な言い方になるが、市役所内部や外部と連携を深めていきたい。

[委員] 市民の方々自身が日本遺産を申請するんだという気持ちになってもらえるよう

にできないか。自治会などにも情報を流して、日本遺産が普段の会話にでてくるようになればいいと思う。また広報などから声上がる仕組みがあってもいいと思う。

[事務局] 具体的な話になれば、日本遺産に申請までの筋道が立ってくると思う。市民の方々にも認識していただいた上で申請していきたい。

[委員] 歴史文化基本構想たたき台 33 ページの「文化財活用の方針」の欄の表現を、より広い世界へ発信していくという主旨にしてはどうか。

[委員長] 文言の整理は、事務局にお願いしたい。

(2) 「日本遺産」登録に向けて

資料6～8を用いて、事務局より説明

[委員] 観光では大山になるのだろうが、文化財としては日向薬師に多数の文化財がある。取り上げたい題材はたくさんあり、市の苦労は察するが、もう少し絞らなければならないと思う。

[委員] 何も知らない人が、キャッチコピーを見て行きたくなるようなものにしてほしい。

[委員] わかりやすいストーリーがいいと思う。辞書を引かなくても分かる、読んで頭に浮かぶようなものがないのではないか。

3. その他

午後5時閉会

[配付資料]

資料5：歴史文化基本構想に関する意見一覧

資料6：「日本遺産」申請に当たっての意見一覧

資料7：「いせはら」について日頃思い・感じていること

資料8：「日本遺産」登録に向けたストーリー案

資料9：タイトル・キャッチコピー集